



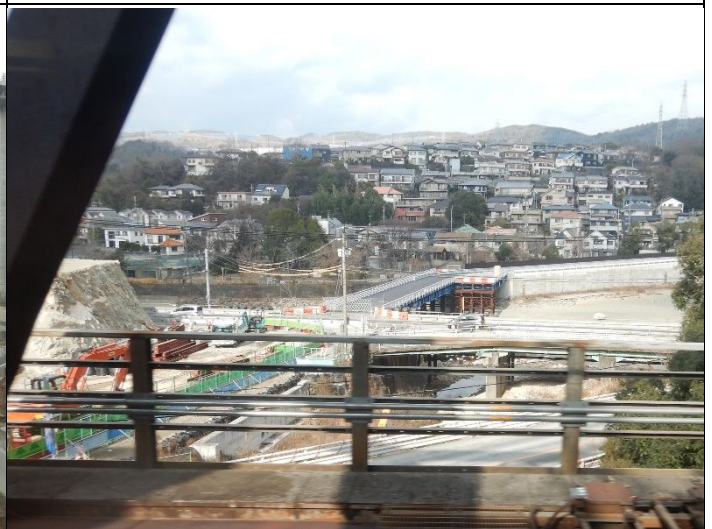
支川まで整備が進む。大池川 2022年1月16日



武田尾水管橋工事始まる 2022年1月16日



道場水標 2022年1月16日



城山トンネル出口 2022年1月16日



小曾根工区ストーンネット搬入始まる 2022年1月17日



小曾根工区説明に見入る市民 2022年1月17日

大池川沿いに有馬富士公園へ向かった。一年前は相当荒れていた大池川が狙っていた苔の在処が分からなくなるくらい綺麗に整備されており、知らぬ間に小さな支川まで整備が進んでいることが分かる。武田尾水管橋工事も始まっていた。時間帯が遅くハイカーの姿は見かけなかったが歩行者や車の往来に支障をきたさないよう配慮されている。無事に工事が進むことを祈りたい。年明けから殆ど降水なく低水位で経過しており、この日の道場水表は砂州の上に飛び出したようになっていた。川の防災情報は水位 0.6m と表示していた。数年前に河床掘削されたときは水に浸かった状態だったことから考えると激しい土砂堆積が進んでいることが分かり、武庫川峡谷部を除き土砂堆積の激しいのが武庫川の特徴のように思える。現行河川改修工事が終わっても数年に一度は土砂掘削工事を営々と繰り返す必要があるだろう。を生きもの・環境に配慮した維持管理が実施されることを望みたい。

下流部の拡幅・低水護岸工事区間は全体的に自然環境に配慮したストーンネット工法が採用され、見かけ上は自然に見える。改修前は魚が逃げ込める空間があるコンクリートブロック製でテナガエビが棲みつき恰好の釣場になっていたが昔通り釣れるかどうか気になりになる。散歩中の市民が説明版を熱心見入り関心の深さを感じ取れる。

